

§ 永吉奨学会とは

第9期卒業生永吉信夫氏が母校の発展に寄与すべく浄財をもって平成26年6月に設立されました。学業が優秀であり、向上心を持つ生徒への奨学金の給付と文化部の中から、部活動に必要とする物品の購入への給付を行います。毎年度150万円の資金を20年間にわたり給付します。

§ 永吉信夫氏について

氏は父の仕事の関係で小中学校時代は何度も転校になり、唯一高校3年間は國學院大學栃木高校で過ごした。在学中は新聞部部長として、市内5つの公立高校との交流研修会で中心的な役割を果たし、精力的に活躍した。中央大学に入学、さらに和光大学人間関係学部へ編入し、自らの学問を深められた。大学卒業後は中学受験専門の家庭教師派遣会社「麻布個人指導会」を設立。生徒たちが十分な学力を付けられる指導をとるという理念の下に本格的な家庭教師派遣事業を展開された。学生講師を一切採用せず、プロ教師のみを起用するなど若者の人材育成に対する氏の並々ならぬ思いは多くの人々の共感を呼び、支持を得ていた。氏の仕事柄、母校への関心は高かった。平成25年に病魔におかされ、病床から同期の仲間と学校と協議を重ね、翌年永吉奨学会を設立することができました。志し半ばでしたが、平成26年8月10日に逝去されました。

§ 平成29年度 永吉奨学会報告

平成29年度の奨学金給付者は4名、給付額は50万円でした。さらにKTベクトルプロジェクトのスタディサプリ用タブレットの購入費、パソコン部のプログラムソフト「マインドストーム」の購入費、吹奏楽部ホルン購入費として958,548円を給付しました。合計1,458,548円でした。